

## 資料提供

令和3年6月23日(水)  
和歌山県と同時提供



令和3年6月23日

担当課	環境政策課
担当者	堤本
電話	(073) 435-1114
内線	2621

## 令和3年度海水浴場水質調査結果について

和歌山市内の海水浴場の水質調査及び放射能調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

### 1 調査の概要

- (1) 対象海水浴場 加太、磯の浦、片男波、浜の宮、浪早の5海水浴場
- (2) 調査実施日 ①水質調査 令和3年4月7日(水)、12日(月)、23日(金)  
※ただし腸管出血性大腸菌O-157については4月7日の午前のみ採水  
②放射能調査 令和3年4月13日(火)
- (3) 調査方法 環境省「水浴に供される公共用水域の水質調査結果の報告について」及び「水浴場の放射性物質に関する指針について(改定版)(平成24年6月8日付け環水大水発第120608001号)」に基づく
- (4) 調査項目 ①水質調査  
ふん便性大腸菌群数、化学的酸素要求量(COD)、透視度、油膜の有無及び腸管出血性大腸菌O-157の5項目  
②放射能調査  
放射性セシウム(134及び137)及び砂浜等の空間線量率の3項目

### 2 調査結果

#### (1) 水質調査結果

5海水浴場全てが海水浴場として良好な水質です。判定については、磯の浦・片男波・浪早は水質AA、加太・浜の宮は水質Aとなっており、全ての海水浴場で「適」となっています。

海水浴場	検 査 項 目				判 定	腸管出血性大腸菌O-157
	ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	COD (mg/L)	透視度 (m)	油膜の有無		
加 太	<2 ~ 54 ( 12 )	1.6 ~ 2.3 ( 1.9 )	全透 [1m以上]	なし	水質A	不検出
磯 の 浦	<2 ~ <2 ( <2 )	1.5 ~ 2.0 ( 1.7 )	全透 [1m以上]	なし	水質AA	不検出
片 男 波	<2 ~ <2 ( <2 )	1.4 ~ 1.9 ( 1.6 )	全透 [1m以上]	なし	水質AA	不検出
浜 の 宮	<2 ~ 290 ( 60 )	1.6 ~ 2.5 ( 2.0 )	全透 [1m以上]	なし	水質A	不検出
浪 早	<2 ~ <2 ( <2 )	1.5 ~ 2.0 ( 1.8 )	全透 [1m以上]	なし	水質AA	不検出

( ) 内は平均値

(2) 放射能調査結果

核種別放射性物質濃度は下表のとおりであり、5海水浴場全てで放射性セシウム（134 及び 137）は不検出でした。

調査地点 (海水浴場名)		核種別放射性物質濃度[Bq/L]	
		放射性セシウム	放射性セシウム
		(Cs-134)	(Cs-137)
加 太	表 層	不検出	不検出
	下 層	不検出	不検出
磯 の 浦	表 層	不検出	不検出
	下 層	不検出	不検出
片 男 波	表 層	不検出	不検出
	下 層	不検出	不検出
浜 の 宮	表 層	不検出	不検出
	下 層	不検出	不検出
浪 早	表 層	不検出	不検出
	下 層	不検出	不検出

(注1) 不検出とは、放射性物質濃度が定量下限値に満たない（定量できない）ことを表します。

(注2) 定量下限値は、定量可能な最低濃度のことです。2項目ともに1 Bq/Lです。

また、砂浜等の空間線量率は下表のとおりであり、高い線量率は検出されませんでした。

調査地点 (海水浴場名)	砂浜等の空間線量率[ $\mu$ Sv/h] <sup>i</sup>		
	高さ1cm	高さ 50cm	高さ 1m
加 太	0.044	0.036	0.029
磯 の 浦	0.043	0.044	0.031
片 男 波	0.065	0.060	0.052
浜 の 宮	0.044	0.040	0.029
浪 早	0.055	0.049	0.036
和歌山城 <sup>ii</sup> (砂の丸広場)	0.085	0.078	0.073

i 各高さにおいて、1回30秒間の測定値を5回測定し、その平均値を空間線量率とした。

ii 和歌山城（砂の丸広場）は、市街地の代表ポイントとして測定しています。

海水浴場の放射性物質の目安<sup>※</sup>・・・放射性セシウム（134 及び 137 の合計）が 10 Bq/L 以下  
空間線量率の目安<sup>※</sup>・・・周辺市街地と同程度又はそれ以下

※平成 24 年 6 月 8 日付け環水大発 120608001 号「水浴場の放射性物質に関する指針について（改定版）」より

## 【参考】

### 1 過去の結果

過去5年間の各海水浴場の水質判定状況は次のとおりです。

	加 太		磯の浦		片男波		浜の宮		浪 早	
	前	中※	前	中	前	中	前	中	前	中
平成28年度	A	A	AA	AA	AA	AA	A	A	A	AA
平成29年度	AA	A	AA	AA	AA	AA	AA	A	AA	AA
平成30年度	AA	A	AA	AA	A	AA	A	B	AA	A
令和元年度	A	A	AA	A	AA	A	A	B	AA	A
令和2年度	A	A	AA	A	AA	A	A	B	AA	A

※ 前：開設前            中：開設中

### 2 海水浴場水質判定基準

(環境省「水浴に供される公共用水域の水質調査結果の報告について」抜粋)

区 分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不 検 出 (検出下限2個/100 mL)	油膜が認め られない	2 mg/L 以下	全透 (1 m 以上)
	水質 A	100 個/100 mL 以下	油膜が認め られない	2 mg/L 以下	全透 (1 m 以上)
可	水質 B	400 個/100 mL 以下	常時は油膜が 認められない	5 mg/L 以下	1 m 未満 ～50 cm 以上
	水質 C	1,000 個/100 mL 以下	常時は油膜が 認められない	8 mg/L 以下	1 m 未満 ～50 cm 以上
不 適		1,000 個/100 mL を 超えるもの	常時油膜が 認められる	8 mg/L 超	50 cm 未満

(注) 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。